

無形資産時代における 知財金融推進の必要性

知財金融事業報告会

株式会社 百五銀行 法人コンサルティング部

DATE : 2026.3.2



CONTENTS

目次

- 01 知財金融推進の目的
- 02 当行の推進体制
- 03 ターゲティング手法
- 04 中小企業支援への展開方策
- 05 知財金融事業全体を通して

01 知財金融推進の目的

目的 Purpose

無形資産を基盤とした地域企業の競争力向上の実現。

役割 Role

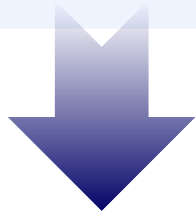
知的財産をはじめとする無形資産を可視化・評価し、事業性に基づく金融支援を提供する。

<p>課題 <i>Issue</i></p>	<ul style="list-style-type: none">✓ 財務面の実績に依存する傾向✓ 創業家、役員陣のみの暗黙知✓ 将来CF創出の蓋然性が不明確
<p>価値 <i>Value</i></p>	<p>従来の“事業性評価”は抽象度が高い ⇒ 解像度の高い評価を通じて、本来の強み／収益の源泉を形式知化する</p>
<p>サービス <i>Service</i></p>	<p>専門家も参画することで、無形資産の類型化が可能となり、精度の高い強み／課題の特定が可能</p>



取引先企業

- ✓ 上層部だけの暗黙知となっている
 - ✓ 財務面の強化／改善に注力しがち
 - ✓ 将来見通しの根拠が曖昧
- etc.

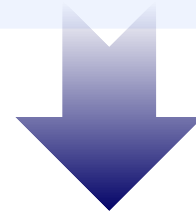


- ✓ 非財務面の形式知化に伴う組織力向上
- ✓ 長期事業継続に向けた円滑な事業承継
 - ✓ 資金調達機会の拡大可能性

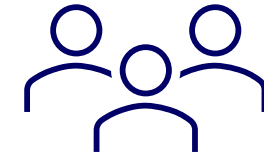


金融機関

- ✓ 過去の財務実績のみで評価する傾向
 - ✓ 将来CF検証の根拠が曖昧
 - ✓ 取引先の強み／課題を特定できない
- etc.

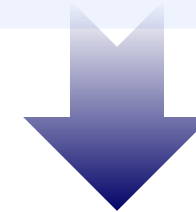


- ✓ 目利き力の高度化
- ✓ 将来CFの確度向上
- ✓ 関係性、取引内容の深化



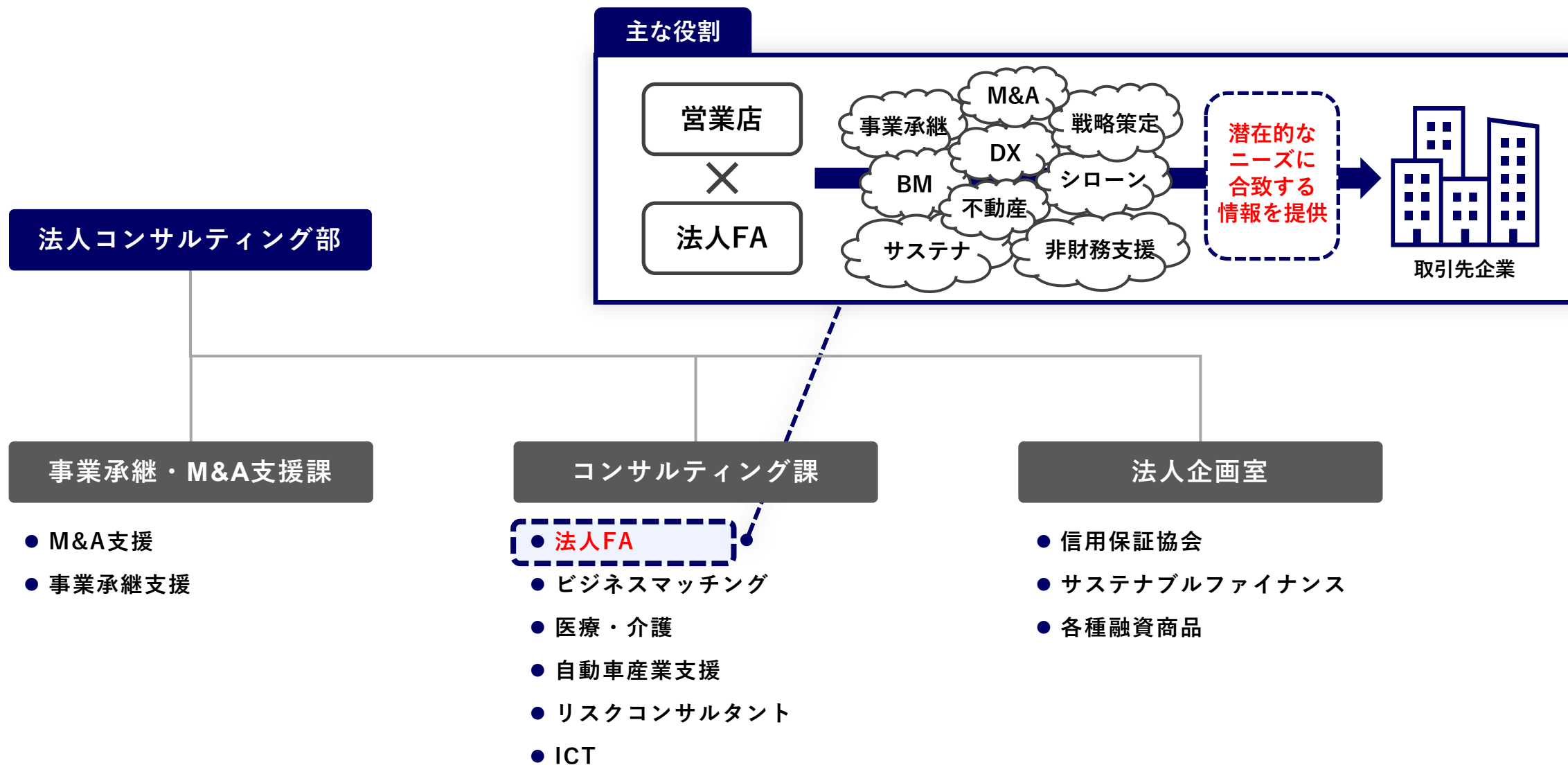
金融機関担当者

- ✓ 事業に踏み込んだヒアリングが苦手
 - ✓ 企業ニーズに合致しない紹介内容
- etc.



- ✓ 事業の根幹に関する対話力が向上
- ✓ 経理部門以外の担当者との接点拡大
- ✓ 融資以外での本質的な提案スキル向上

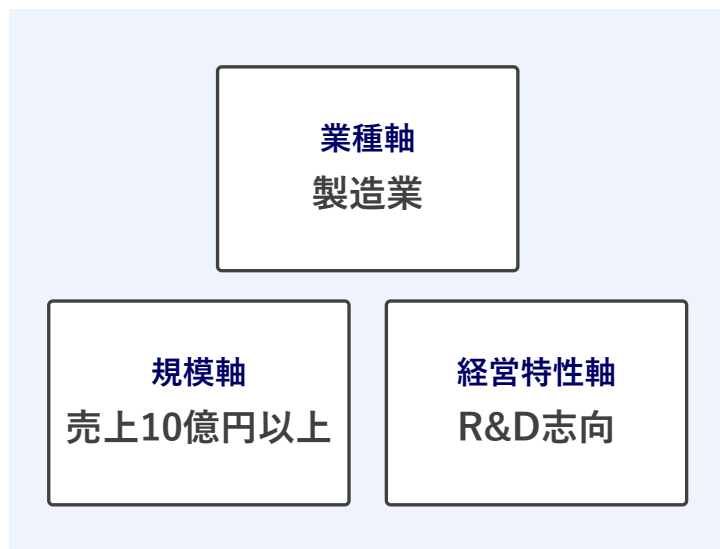
02 当行の推進体制



03 ターゲティング手法

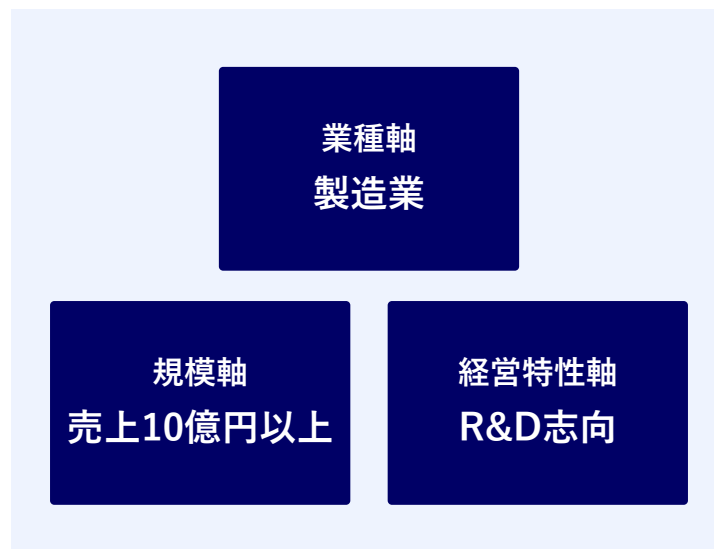
セグメンテーション

業種・規模・経営特性を軸とした
多段階セグメンテーション



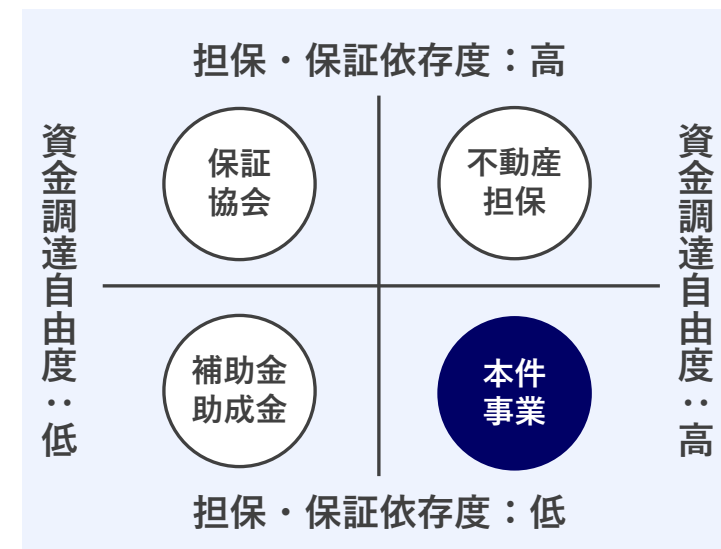
ターゲティング

製造業・売上10億円以上・研究
開発志向の3点を満たす企業群
を重点ターゲット



ポジショニング

従来とは異なる位置付けにある
取組として顧客へ訴求



04 中小企業支援への展開方策

	STEP1 インプット	STEP2 アクティビティ	STEP3 アウトプット	STEP4 アウトカム	STEP5 インパクト
ビジネス	<p>投入する資源 例：人材、予算、設備情報、ノウハウ</p>	<p>実施する活動・施策 例：研修実施、研究開発、営業活動、支援プログラム</p>	<p>活動の直接的な成果物（量的成果） 例：研修参加人数、開発した製品数、実施回数</p>	<p>行動変化・能力向上 成果の質的变化 例：スキル向上、生産性向上、売上増加</p>	<p>社会・組織に対する 長期的影響 例：地域経済活性化、産業競争力強化</p>
知財金融	<p>知財評価ノウハウ 知財専門人材 評価費用・支援予算 企業の保有知財データ</p>	<p>知財の可視化支援 知財価値評価の実施 知財戦略・事業戦略整理</p>	<p>知財評価レポート作成 知財戦略レポート作成 知財を考慮した事業計画策定</p>	<p>知財を活用した資金調達 企業の知財戦略強化 企業価値・事業競争力の向上 金融機関による事業性評価融資の高度化</p>	<p>企業の競争力向上 イノベーション創出 地域経済の成長</p>

STEP1～STEP3までは知財金融事業にて対応可能



STEP4以降を実現していくことに意義がある

知財に着目した ファイナンス手法の企画開発

従来型担保融資に
依存しない新たな手法

- ✓ 多様化する調達手法との適合検討
- ✓ 継続的な対話が必要（関係性強化）

知財マッチングによる イノベーション創出

他社保有シーズとの相乗効果
対象企業シーズの実用化

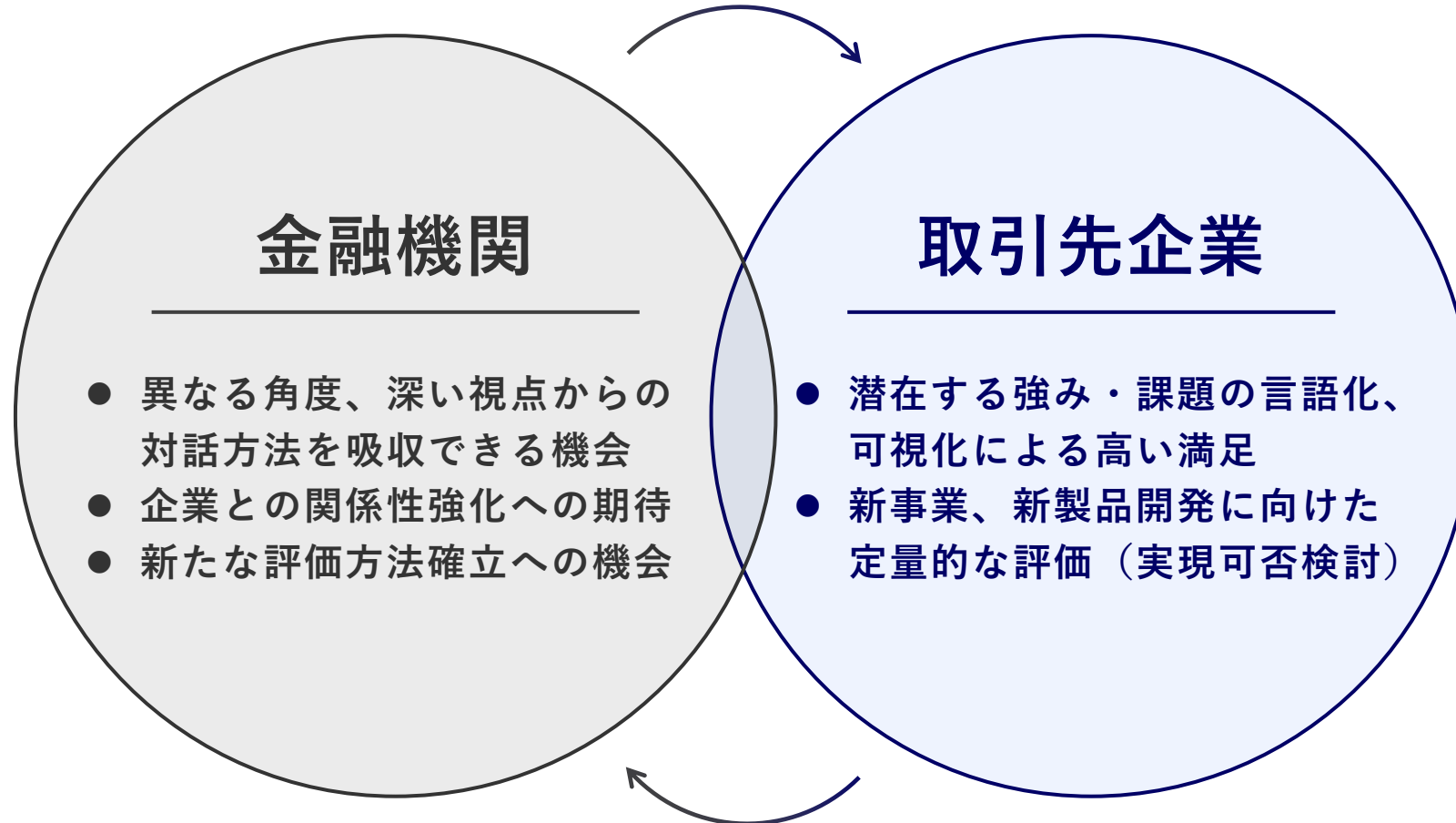
- ✓ 知財可視化による他社シーズ活用検討
- ✓ 潜在技術のライセンサーとしての検討

知財承継を踏まえた 長期事業継続支援

無形資産の形式知化による
事業承継後の低迷抑止

- ✓ コアコンピタンス特定による継続発展
- ✓ 後継者の新事業立案に活用

05 知財金融事業全体を通して



▶ 金融機関による企業への関わり方として、あるべき姿がイメージできるようになる



ご清聴ありがとうございました。

株式会社 百五銀行 法人コンサルティング部
コンサルティング課 法人FA 中川